平成 28 年度（2016 年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑　　法

Ｄ日程入試

（注意）
１．問題冊子（表紙を含む）は２枚です。
２．問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
３．問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
４．解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 28 年度（2016 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑　　法

問題　判例の立場を説明した上で、以下の設例におけるＸの罪責を論じなさい（特別法違反の点を除く）。

Ｘは、交際していた女性Ａと自動車内で口論となり、Ａが「もういい。これ以上付きまとわないで。」と言って自動車から降りようとしたことから、絶望的な気持ちとなり、Ａを殺して自分も死のうと考え、Ａを殺害することを決意し、所携のマキリ包丁でＡの左胸部を２回突き刺した。

Ａはその際、とっさに機転を利かせて、Ｘに対し、「本当はＸのことが好きだったんだよ。」、「あんたに刺されたって言わないから、病院に連れて行って」などと繰り返し懇願した。

Ｘは一旦は自宅で心中するためにＡを車に乗せたものの、Ａの発言に動揺し、気持ちの定まらないまま自動車を発進させたが、結局、自宅と病院の分岐となる交差点において、このままＡを死なせるわけにはいかないと考え、Ａを病院に搬送した。

Ｘは、病院関係者に自分がＡを刺した旨を申告し、病院からの通報によって駆けつけた警察官に緊急逮捕された。